

中国挑発の「最前面」に! 日本が… 長射程ミサイル 実射に抗議!



新ひだか 7/24 行動

今週の火曜。6月24日、日高の海岸から一発の地対艦誘導弾が発射されました。

「抑止力強化」が名目とされた訓練ですが、目的は日本の国土の防衛などではなく、「台湾有事」を想定した米軍の中国海軍封じ込め作戦の実行部隊の役割を自衛隊が行うというものです。

「日本は平和を望むなら戦争の準備を」「西太平洋で有事に遭遇した場合、日本は前線に立つことになる」としたヘグセス米国防長官(3/30 東京)の言に答えるように、「専守防衛」の建前もふみ破って強行された「実射」訓練。

「武力による威嚇、武力の行使は国際紛争解決の手段としてはこれを永久に放棄する」とした日本国憲法9条の定めも無視、日本を攻撃してはいない他国

(中国)の艦船に武力行使する訓練が公然と行われたことに対し、地元の人々とともに憲法共同センター、道労連、釧路、十勝、苫小牧など各地の代表がいっせいに抗議の声を上げました。(写真 HBC テレビ。右上のQRでご覧になれます)



参院選 公示 1週間後にQ!「アピール」準備中!

6月22日閉会となった国会では、インターネットも国が「監視」というサイバー法や、「学術の終わりの始まり」になりかねないとされる日本学術会議解体法案が強行され、衆参の憲法審査会では自公維新国民による「改憲原案起草委員会」設置の要求がくりかえされました。

「軍事と学問・思想」、さらには「情報」、「憲法」あらゆる面ですすめられる戦争国家化の企てを止め、「平和をつくる」政府に変えるたたかいが待ったなしで求められていると言えます。

「国民生活そっちのけ」の政治から「憲法にもとづく政治」を行う政府に変える目の参院選こそは、その絶好のチャンス。昨日ひらかれた代表委員会では憲法センターからの「参院選アピール」を協議。近々みなさんにお届けします!

●パレスチナの命を救え! 6/29 札幌駅前行動・デモ 6/29 (日) 13:00 札幌駅南口広場